

## 大分県 別府湾圏域 総合水産基盤整備事業計画

### 1. 圏域の概要

#### (1) 水産業の概要

##### ① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

別府湾圏域は県中央部に位置し、杵築市、日出町、別府市、大分市（旧佐賀関町除く）の3市1町があり、その総人口は643,601人である。漁業人口の割合は0.1%で、県平均の0.4%と比べて半分以下である。

平成14年に県内のすべての漁業協同組合は合併して大分県漁業協同組合となり、域内には本店と5つの支店・取次店がある。

##### ② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

域内では、船びき網（域内漁獲量の26%）、底びき網（19%）、刺し網（9%）などが営まれている。主な漁獲物は、現在の漁獲量が多い順にカタクチイワシ325トン、シラス316トン、その他海藻類145トン、その他イカ類135トンであるが、いずれの魚種も漁獲量の減少が著しく、漁船漁業全体の漁獲量はピークの昭和55年、20,729トンの8%にあたる1,742トンまで落ち込んでいる。しかし、ハモやその他イカ類は近年漁獲量が安定している。

種苗放流にも積極的に取り組んでおり、令和2年度にはマコガレイ10万尾、クルマエビ217万尾ほどを域内各地へ放流している。

##### ③ 水産物の流通・加工の状況

域内で漁獲された水産物は域内の市場へ出荷されるものが多いが、福岡の市場へ出荷されるものも多い。煮干しやちりめんじゃこ等の加工品は関西へも出荷されている。漁協杵築支店では、ハモの加工を行う水産加工場建設を令和元年度に着工し、令和3年度から本格稼働開始している。水産加工場では、ハモ加工の他、未利用魚を利用した加工品の開発にも取り組む。

##### ④ 養殖業の状況

養殖業としては杵築市守江湾でカキ養殖が営まれており、県下でもトップの水揚げ量である。

#### ⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

域内の組合員数は正 252 名、准 354 名の計 606 名で、高齢化や資格審査の厳正化等により減少傾向が続いており、5 年前のおよそ 98%となっており、現状の減少率で推移すると令和 8 年には 594 名程度まで減少するものと考えられる。

#### ⑥ 水産業の発展のための取組

船びき網で漁獲されるシラスは、「豊後別府湾ちりめん」のブランドとして漁協の共同販売で出荷され、平成 19 年に地域団体商標を取得しているが、鮮度保持を強化して、魚価の向上を図る。ハモについては、平成 24 年に流通改善と地域の特産化を目的としたハモ部会が発足した。また、県内でも杵築市ではマガキ養殖が盛んであり、時期になると浜焼きスタイルのカキ小屋が人気となっている。近年は安定した種苗供給を目指して、地元での天然採苗を行っている。さらに、日出町ではマコガレイの中間育成を行い、大型種苗放流を行うとともに、水産多面的発揮対策事業でアマモ場造成にも取り組んでいる。

#### ⑦ 水産基盤整備に関する課題

高齢化が進む中、陸揚げ作業等が与える負担が増している。また、施設の老朽化が著しいことから、水産物の安定的な供給体制が整っていない。

併せて、漁獲量の減少が著しいことから、生産力を底上げし水産資源を増やすための漁場整備として、堆積物除去・海底耕うん、藻場造成・増殖場造成などの取り組みが必要である。特に、カレイ類を対象としたアマモ場造成や増殖場造成を行い、マコガレイの放流効果を高める。また、別府湾は湾の奥が深い海底構造であることから、湾内の海底環境が悪化しやすいため、漁場の保全・改善が必要である。

#### ⑧ 将来的な漁港機能の集約化

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	生産力向上型	設定理由；地域団体商標を取得するなど、水産物の生産、供給の強化を図っている地域である。
② 圏域範囲	杵築市から大分市に至る別府湾地域	設定理由；別府湾水産振興協議会の参集範囲。
③ 流通拠点漁港	該当なし	設定理由；
④ 生産拠点漁港	該当なし	設定理由；
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

(輸出取扱量：令和元年度、その他：令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	1,743	圏域の登録漁船隻数(隻)	394
圏域の総漁港数	14	圏域内での輸出取扱量(トン)	-
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1		

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	

## 2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

#### ① 流通拠点等の機能強化

#### ② 養殖生産拠点の形成

該当なし。

### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

#### ① 環境変化に対応した漁場生産力の強化

漁獲量の減少が著しいため、沿岸の基礎生産に重要な藻場の維持・拡大を図るとともに、水産資源の生活史に対応した増殖場と魚礁を設置することによって生産力の底上げを図り、水産資源の増大を目指す。また、別府湾は湾の奥が深い海底構造であることから、湾内の海底環境が悪化しやすいため、漁場保全・改善に努める。こうした整備を行うに当たっては、モニタリング等で効果を検証する必要がある、ハードとソフトが一体となった効率的な取り組みを行う。また、種苗放流や資源管理の取り組みを継続していく。

#### ③ 災害リスクへの対応力強化

### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

#### ① 「海業」による漁村の活性化

圏域内の漁港において既存ストックの有効活用を図るため、プレジャーボートの受け入れの場として活用する。

#### ② 女性など多様な担い手の活躍

圏域内の漁港において女性や高齢者など多様な担い手が活躍できるよう、就労環境を改善するために老朽化対策を進める。

### 3. 目標達成のための具体的な施策

#### (1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

##### ①流通拠点等の機能強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点

##### ②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

#### (2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

##### ①環境変化に対応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
大分県中央部	資源管理	水産環境

別府湾地区では、増殖礁の整備、魚礁の設置、堆積物除去・耕耘とあわせて、休漁日の設定と体長制限などの資源管理を一体的に行っている。

##### ②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

#### (3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

##### ①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

##### ②女性など多様な担い手の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
	就労改善	港整備	美濃崎	2	
大分県	就労改善	機能保全	亀川	2	
日出	就労改善	機能保全	大神	2	
日出	就労改善	機能保全	真那井	1	

各地区において機能保全による老朽化対策を行い、担い手の就労改善を図る。

#### 4. 環境への配慮事項

漁港整備で発生する残土については、沖合の漁場造成にあてることにより、環境への負荷を軽減させる。

#### 5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

# 5. 水産物流通圏域図

